

年度計画

20.6.1
岡山県オリエンテーリング協会

(1/2)

21.5.10 岡山県オリエンテーリング協会
年度実績

1. 計画概要

別紙20年度活動計画要旨による。

別紙20年度活動報告まとめ参照。

2. 会議体

(1). 総会の開催

・今年度に限り理事会結果を事後報告で代用する

予定通りの形で実施
結果対話の機会が設けられなかった。

(2). 理事会の開催

・5月に議題書類をメールで送付し意見、了解を求める形にする
・10月4日(日)13:30～16:00予定予定通りの形で実施
できなかった
(コロナ対応大会開催検討を優先、時間を費やし過ぎた)

(3). 県レク関係

2年任期が切れるが、もし要請があれば理事佐藤、評議員濱上で留任する。

理事佐藤、評議員濱上で再任。会議は全て書面表決

3. 主催・主管イベント

基本スタンス

初心者に配慮したイベントであるとともに、経験者にも満足してもらえる大会を志向し、ホスピタリティある愛好者を育て、かつ会員の資質向上を図りスムーズな世代交代を促進する。

コロナ対応についてJOA、他団体の要領を参考に
試行錯誤しながら開催、運営要領を定めて実施
したが、参加者の理解を得て無事に開催できた。
スタート時刻枠自己申告、参加費前納早割選択は好評
・個人276名、Gr47組114名(前年個人190、Gr51組147)
・個人35名、Gr8組19名(前年個人23Gr6組16)、運営10名

(1). オリエンテーリング大会の開催

- ・第2回くらしき山陽ハイツdeオリエンテーリング 4月5日(日) 倉敷市有城 くらしき山陽ハイツ
- ・第39回笠岡市O大会(白石島) 4月26日(日)で進めていたが中止
- ・令和2年度岡山県民O大会(県健康の森) 11月15日(日) 新見市神郷 県健康の森管理センター
昨年同様健康の森利用促進協議会が主催したい意向なので主管として運営する
- ・第3回くらしき山陽ハイツdeオリエンテーリング 11月29日(日) 倉敷市有城 くらしき山陽ハイツ
- ・令和2年度岡山県民パークO大会(吉備中央公園) 12月13日(日) 吉備中央町吉川 さんさん広場
- ・令和2年度岡山県民O大会(由加山) 2月14日(日) 倉敷市児島由加 倉敷市琴浦北小学校
- ・令和2年度岡山県民O大会(吉備高原) 3月28日(日) 吉備中央町吉川 国立吉備青少年自然の家

- ・個人31名、Gr7組16名(前年個人35Gr3組7)、運営10名
昨年同様無料猪汁があったが事前広報できず反省
- ・個人46名、Gr10組25名、運営9名
施設の後利用内容決定次第で開催の可能性有るかも
- ・個人44名、Gr6組15名(前年個人23Gr3組10)、運営11名
マスクしていないと地元民からクレームがあり反省
- ・個人72名、Gr11組27名(前年個人31Gr8組18)、運営12名
きわめて好評でレベルの高い争いになった
- ・個人48名、Gr5組12名(前年個人20Gr6組15)、運営12名
雨天の為20名余のDNSがあり当日申し込みもゼロ
まだ完工していない
由加山は他イベントを避け1週早めたが結果は良かった
市教委判断で中止した

岡山県民パ - クO大会(福田公園) は工事の早期完了が見込めないため今年度も開催を見合わせる。
いずれも日程は仮案であり、年度計画決定後関係先と調整して最終決定する。(山陽ハイツも当方の希望日)
第39回笠岡市大会(白石島)は令和3年4月25日(日)で予定する。

練習会(大会前日にコントロール設置等の準備をする場合で準備完了後)は従来通り試走を兼ねて行う。
なお、スタッフが足りて運営に差し支えない場合、当日の試走も行えるよう考慮する。

予定通り実施できた。(2/4)
スタッフ数も十分に前年より余裕ある運営ができた

(2).その他イベントの開催

・講習会、研修会関係は例年大会開催を避けた日程(6月～9月)にしているが今年度は中止する。

実施しなかったが基本技術教室はニーズがあり
コロナが収まれば早急に実施したい

4. 協力イベント

基本スタンス

オリエンテーリングの普及推進を図り、スポーツ振興に寄与するため労を惜みず随時対応する。

どの団体も実施する状況ではなかったようである

(1).県レクイベント

・スポレクINOKAYAMAは昨年度同様内容と見込まれるため参加見送り。
一度機会をとらえてナビゲームを体験してもらおう場を設けたいと思うが日程がなかなか合わない。

イベント自体も中止になった

(2).その他イベント

・医療福祉関係の職員研修オリエンテーリング、初心者講座、地図読み講座、白石島トレラン運営など、
実施の依頼があれば対応する。

いずれも見送りで依頼なし

5. その他の取り組み

(1).Omapの作成整備

・県健康の森、由加山、吉備高原、白石島ともコース設定時に調査修正を行う。(いずれも2～3日程度)
ただし、白石島は現地植生をOMapに合わせるスタンスで修正する。(延べ3日程度)
また県健康の森は昨年同様利用促進協議会が一部山中の熊笹整備をしてくれる予定。
・山陽ハイツ、吉備中央公園は大会開催に合わせ最新の状態に修正する。(それぞれ1日程度)
・福田公園はリニューアル完了ならば調査修正を始める。(延べ2日程度)
・操山の整備は、引き続き他の負荷を勘案しながら実施を前提に検討する。
・新見健康の森に複数のパーマネントコースを作りたい地元意向があるので相談に乗りながら実現させたい。

白石を除きマーキング含めいずれも2回実施
吉備高原は国少に整備を要請したが期待できそう。
健康の森はある程度整備してくれつつあり良い方向。
マーキング含めそれぞれ1回実施
実施せず
暑すぎてバテて2日間調査実施にとどまった
進展せず
岡山県青少年教育センター閉谷学校から
パーマネントコースの整備依頼があり調整中

(2).全日本リレー大会への選手派遣(11/8鹿児島県)

・ふるさと登録者を含めて呼びかけてみる。

(2/2)

ME等組めず、XJで広島県と連合チームで1名派遣

(3).ねんりんピック岐阜2020への選手派遣(10/30～11/1)

・県代表、岡山市代表ともチーム編成して派遣したい。
双方の編成ができない場合は県代表のみ、もしくは合同チームの編成とする。

合同チームを推薦できたが1年延期になった

(4).助成団体への助成申請

・昨年同様、JOAと岡山県レクリエーション協会への助成申請を行う(いずれも3万円の見込み)。

・助成済

(5).競技者登録

・従来同様推進するが新規登録者がほとんどいない。この課題策が必要。

・前年比1増の14名登録

(6).ディレクタ、インストラクタ更新登録

- ・引き続き県協会が更新手続きを行う。
1年延期になり来年度からディレクタが(公財)日本スポーツ協会のコーチ制度に移行するようであるが詳細未定。従来登録費用から還元があったがなくなると見込まれ収入減となる見込み。

- ・D1級1名、D2級2名、インストラクタ5名登録
(前年比ディレクタ1級/インストラクタ各1名減)
なおJSPQのコーチ制度への移行は21年度から段階的に行われることになったので取り組むが佐藤(D1)は移行せず区切りをつけたい
中野氏(D2)はぜひ移行手続き願う(コーチ1へ)
インストの各氏も来年度以降コーチ1を目指してほしい。
・12名加入(前年比1名増)

(7).スポーツ安全保険加入について

- ・引き続き希望者による団体加盟を継続する。(掛け金個人負担)

(8).その他

- ・会員名簿の維持管理
母体となる競技者登録者、認定指導者登録者の維持に努める。一般会員も増えてくれればよいのだが。
- ・資産の維持管理
EMIT関連を主体とした適正な維持、および地図データ主体に確実な保全。E-Cardは昨年度多数交換したため今年度は少なくて済む見込みであるが、もし多数の交換が必要になる場合は今年度の補充見合わせも考慮。
- ・情報収集と活用
JOAおよび各種サイトからの随時収集と効果的な反映。
- ・ホームページとMLの運用
従来どおり運用する。
- ・理事会および総会の活性化
多くの出席者で新たなイベントの仕掛け、改善など知恵を出し合い、活性化につながる場とする。
- ・岡山大学OLクラブへの各種支援
可能な限りの支援を行うが学生の新規加入が果たして見込まれるか。
- ・イベント等の広報活動
従来同様メディア(記者クラブ含む)、行政(行政サイトおよび広報誌等)の活用、一般へのチラシ広報等の実施。
引き続き過去の参加者に対しメールでの案内を積極的に繰り返し行ってみる。
- ・大会およびその他の主催・主管イベントならびに協力イベントについて
引き続き「岡山県オリエンテーリング協会関係の大会・イベントの取り扱い」に基づき運用する。

- ・競技者登録者、認定指導者、一般会員含めた会員総数は20名(前年比2増2減)
- ・継続中
S/ユニット、C/ユニット各1補充するも収支見通し面からE-Card約15枚交換補充せず、21年度には補充要す
地図データ主体の定期的にバックアップは継続中
- ・継続中
- ・会議の場を設けられず停滞か
- ・今年度も動きが全くなく支援のしようがない状態
JOA地域活性化委員会の何かのアクションあるかも
- ・従来通りメディア行政活用中(10/28、1/21FMくらしき出演PR、おかやまスポーツナビ、くらしきスポーツナビ、山陽新聞情報広場への投稿)、新たにJOYへの掲載も始めたが、FB、ツイッターへの投稿もやればさらに効果的と思われるが、若手で広報を分担してほしいものである。なおメールでの過去の参加者への呼びかけは都度実施したがかなり効果あったと判断している
- ・運用中

(9).懸案事項(覚え)

- ・2021年度のねんりんピックは神奈川県になるがオリエンテーリングがあるか不明。(多分ありそう)
岡山県のねんりんピック開催はいつになるのだろう。神奈川の次は愛媛、鳥取と続き向こう3年はないようだ。
- ・長野の木村さんから情報があつた白石島でのロゲイニング開催がどうなるか。
- ・以前から白石島でのストリート(街中)スプリントイベントの要望がよくある。
22年4月の第40回大会記念で2日間大会として前日開催することが考えられる。(地元と調整する必要がある)

この項はいずれも進展なし

(11).特別課題

昨年度途中を含め以下のような課題を投げかけていた。

- ・次期役員任期となる21年度以降の執行体制(役員、運営分担等)と基本スタンスについて意見交換を行い、集約して本年度の以後を含めた運営で試行したい。(特に大会準備～運営)
- ・前日設置でかなりへばった高齢者がいたが、その内大会開催数の見直し、前日設置後の試走練習会の廃止、あるいは複数日での設置撤収等いろいろ検討が必要になってきそう。

加えて関係する以下の課題提起を含めて皆さんの意見あるいは提起をお願いしたい。

- ・主催・主管イベントに基本スタンスを設けて長年取り組んできたが、なかなか成果につながらない。開催頻度、その質の追求に加え、イベント後を含め「仲間づくり」の視点が不足しているのかもしれない。以前課題として取り組み始めた「アフタケア」の問題も人手不足などからおろそかになってしまっている。フィニッシュ後の特に初心者レベルの参加者に感想を聞いて相談に乗ったりするフリーのスタッフもおれば次回につながる妙手になる可能性がある。ナビゲームをアレンジしてそのようなアフタケア体験の場にするようなやり方もあるかもしれない。またNaviTabiアプリを利用した練習会なども考えられる。

以上

- ・理事会を含めて協議する場を設けられなかったがこのような状況下では停滞もやむを得ない。
- ・JOAからJSPOのガバナンスコードを踏まえたセルフチェックを求められている。21年度は役員改選の時期にあたるが当面交代はきわめて困難であるが背景を念頭に置いて取り組む必要がある。今年度2名の若手が入会し大会運営等において比較的余裕を持った運営が可能になった。
- ・アフタケアについてもある程度可能になってきたと思ったが今年度会話をセーブするような運営を指向しておりやりたくても我慢した。21年度には何とか取り組みたい。
- ・厳密には21年度になるが、4月にJOAの地域活性化委員会の執行理事と1時間ほど面談し情報交換をした。中四国九州ブロックに対する各種支援が開始されているようでそれらも勘案して引き続き取り組む
- ・NaviTabiアプリを利用した練習会などは若手にぜひ取り組んでもらいたいものである。
- ・ここに掲げた特別課題についての総括として早計かもしれないが若干光明が見えてきた1年だったように思われる
特別課題は引き続き注視すべきであるが、さらに活力ある新たな活動施策として
 - ・みちびき対応のGPSロガー導入と新調査方法
 - ・OCADのバージョンアップと他の地図ソフト調査
 - ・競技用ユニフォームの追加新調
 - ・急遽導入した早割参加費に見合う大会参加費等を検討する必要がある。
- 加えて、近年後期高齢者になったものの参加意欲が衰えているためか他県の大会への連れ立っての積極的参加きわめて少なくなっている。全日本、WMGなどをはじめ少しでも多くの大会にまとまったの参加が復活するようにしたい。